

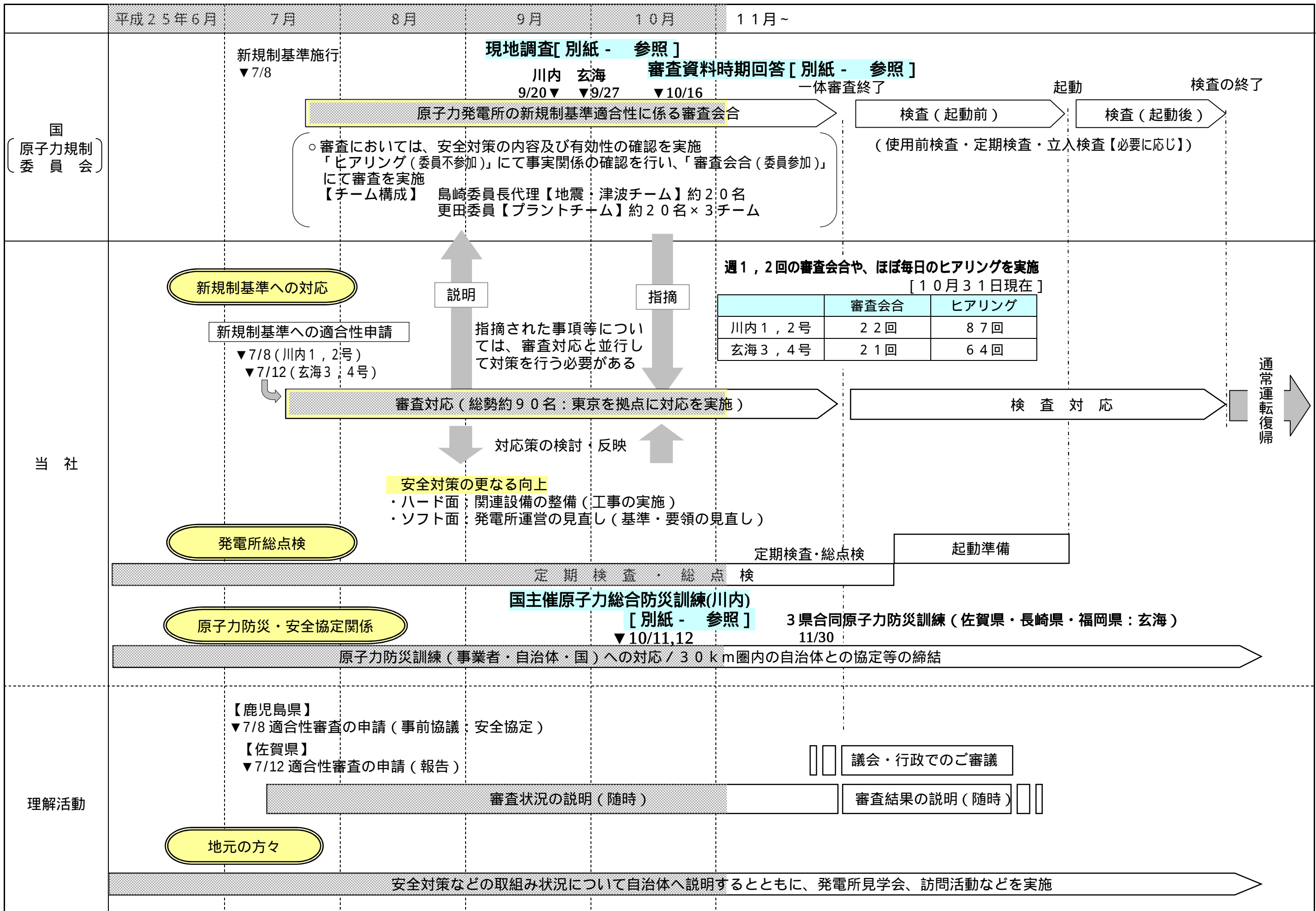
川内原子力発電所 1 , 2 号機、玄海原子力発電所 3 , 4 号機の 新規制基準への適合性審査状況

新規制基準への適合性審査の状況や原子力防災訓練への取り組みをご紹介します。(「新規制基準への適合性審査とその後の検査の流れ」参照)

- 原子力規制委員会(平成 24 年 9 月発足)は、福島第一事故の教訓や、海外の規制の動向を踏まえ、従来の安全基準の強化と、重大事故(シビアアクシデント)への安全対策を「新規制基準」として策定し、平成 25 年 7 月 8 日に施行しました。
- 当社は、7 月 8 日に川内 1 , 2 号機、7 月 12 日に玄海 3 , 4 号機について、規制基準への適合性の審査を受けるため、原子力規制委員会へ、原子炉設置変更許可、工事計画認可、保安規定変更認可を一括して申請しました。
- 現在、原子力規制委員会の審査会合やヒアリングに、適切かつ迅速に対応できるよう、専門の社員約 90 名が東京に常駐し、全社一丸となって対応しているところです。より良い発電所となるよう、審査でのコメントや議論を踏まえた改善に継続して取り組んでおります。
- 一方、川内及び玄海原子力発電所では、福島第一事故の影響により、定期検査開始以降、停止期間が長期化していることを踏まえ、今後の安定運転に万全を期するため、機器の監視強化や入念な点検など総点検を実施しております。
- また、地域の皆さまの安全、安心の確保の観点から、国や自治体と連携のもと、原子力防災体制の整備・充実を図るべく、全社を挙げた、原子力防災訓練を積み重ね、防災対策に万全を期しております。

新規制基準への適合性審査とその後の検査の流れ（イメージ）

平成25年11月5日



原子力規制委員会による現地調査について

川内及び玄海原子力発電所において、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査の一環として、現地調査が行われ、これまでの審査会合等で説明してきた重大事故（シビアアクシデント）、火災、設計基準、溢水、耐震、津波、竜巻などの対策状況について、実際の現場での実施状況や取り組み姿勢を確認していただきました。

1. 実施日時

川内　：　平成25年9月20日（金）9時00分～16時10分

玄海　：　平成25年9月27日（金）9時00分～17時00分

2. メンバー

更田 豊志　原子力規制委員会 委員

櫻田 道夫　原子力規制庁 審議官他〔川内：合計26名　玄海：29名〕

3. 実施状況

原子力規制委員会による調査は、調査項目毎に、4グループに分かれて実施されました。

現場調査【移動式大容量発電機】（川内）



現場調査【中央制御室】（玄海）



現場調査【中間受槽】（川内）



現場調査【移動式大容量ポンプ車】（玄海）



審査会合への資料提出状況及び提出予定

○平成 25 年 10 月 16 日 第 33 回審査会合提出資料

主要なプラント関係審査項目		資料提出状況 (○:提出済 :一部提出 ×:未提出)		
		川内 1, 2 号機	玄海 3, 4 号機	備 考 (10 月末現在の状況)
重大事故対策	確率論的リスク評価	× 11 月中旬	× 11 月下旬	(1 10/24 提出済)
	有効性評価 (炉心損傷防止)	○	○	
	有効性評価 (格納容器破損防止)	○	○	
	有効性評価 (使用済燃料プール、原子炉停止中)	○	○	
	解析コード	× 11 月中旬	× 11 月中旬	
	緊急時対策所・制御室 手順書	○ × 11 月下旬	¹ 10 月下旬 × 11 月下旬	
設計基準事故対策	内部溢水	× 11 月上旬	× 11 月上旬	(2 10/22 提出済)
	内部火災	× 11 月下旬	× 11 月中旬	
	外部火災	× ² 10 月下旬	○	(3 10/22 提出済)
	竜巻 (影響評価・対策)	× 10 月下旬	× 11 月中旬	
	火山 (対策)	× ³ 10 月下旬	× 11 月下旬	(4 10/24 提出済)
	緊急時対策所・制御室 < 再掲 >	○	⁴ 10 月下旬	
工事計画	耐震評価・強度評価	× 12 月中旬 *	× 12 月中旬 *	*:「重大事故対策」、 「設計基準事故対策」 が終了後に資料提出 とした。
	重大事故対策機器・設備の評価	× 12 月中旬 *	× 12 月中旬 *	
保安規定	組織・体制	× 12 月上旬 *	× 12 月上旬 *	
	教育・訓練	× 12 月上旬 *	× 12 月上旬 *	
	LCO / AOT	× 12 月上旬 *	× 12 月上旬 *	
	重大事故対策の手順書 < 再掲 >	× 11 月下旬	× 11 月下旬	

主要な地震・津波・火山関係審査項目		資料提出状況 (○:提出済 :一部提出 ×:未提出)		
		川内 1, 2 号機	玄海 3, 4 号機	備 考 (10 月末現在の状況)
敷地内の破砕帯		× 11 月上旬	× 11 月上旬	
地震動	敷地及び敷地周辺の地下構造	○ 10 月下旬 ⁵	○ 10 月下旬 ⁵	(5 10/23 宿題回答)
	震源を特定して策定する地震動	○ 10 月下旬 ⁶	○ 10 月下旬 ⁶	(6 10/30 宿題回答)
	震源を特定せず策定する地震動	× 10 月下旬	× 10 月下旬	
	基準地震動	○ 10 月下旬	○ 10 月下旬	
	耐震設計方針	× 11 月上旬	× 11 月下旬	
津波	基準津波	○ 11 月上旬	○ 11 月上旬	
	対津波設計方針	× 11 月上旬	× 11 月下旬	
地盤・斜面の安定性		× 11 月中旬	× 11 月中旬	
火山	火山影響評価	○ 適宜調整の上提出	○ 適宜調整の上提出	

注) ○, , × は、平成 25 年 10 月 8 日に、原子力規制委員会より示された資料提出状況。

国主催の平成25年度 原子力総合防災訓練について

標記訓練については、福島第一事故の教訓を反映した、新たな原子力防災体制のもとで、実際の災害場面に合わせた実時間実動訓練により、住民避難など原子力災害対応体制を検証することを目的に、2日間にわたり実施されました。

当社においても、シナリオを明かさない実時間実動での対応、国・自治体・事業者間の連携強化に主眼を置き、各訓練に取り組みました。

1. 日 時 平成25年10月11日(金) 10:00～17:30
12日(土) 11:00～16:30

2. 対象施設 川内原子力発電所

3. 参 加 者

国 内閣総理大臣、官房長官、環境大臣、
原子力規制委員委員長他
鹿児島県 知事、薩摩川内市長、いちき串木野市長他
当 社 社長、副社長、発電本部長他、約400人
参加機関 約130機関、参加人数 約3,400人

本店原子力施設事態即応センター



代替緊急時対策所(発電所構内)



後方支援拠点(社有地)



道路啓開訓練(発電所構内)



代替緊急時対策所の運用開始について

重大事故等が発生した場合において、当該事故に対処するために必要な指示を行う要員がとどまり、事故対応の指揮所となる代替緊急時対策所を設置しました。適合性審査の終了後、国による使用前検査を受検し、正式な運用を開始する予定としております。

【代替緊急時対策所の機能及び主要設備】

(1) 機 能

耐震性及び遮へい機能を有するコンクリート造の建屋
(無窓、気密化)

(2) 主要設備

- 放射線防護設備：よう素除去フィルタ付換気装置を設置
- 専用電源設備：専用の非常用発電機を設置
- 通信・情報設備：衛星通信設備、テレビ会議システムによる社内や外部との通信設備を設置、プラントパラメータを表示できる端末を設置

(3) 広 さ 約 1 8 0 m²

